






2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立神川小学校 】

1 実践テーマ	I・III
2 実施対象者 (学年・人数)	4年 4クラス 114人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (総合的な学習の時間) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	障害者スポーツをされている人からお話を聞いたり、車椅子体験等の活動をしたりすることを通して、2020年東京オリンピック・パラリンピックに興味をもつと共に、障害のある人への理解を深め、共生する社会について考える。
5 取組内容	<p>事前学習として、小学校の校区に住んでいる人たちには、どんな方がいるかを考えた。お年寄り、妊婦さん、体が不自由な方、目の見えない方など、さまざまな人たちと生活していることに気が付いていた。そこから、学校にあるアイマスクや点字を打つことのできる道具を使って、学習を進めた。</p>   <p>7月11日に、社会福祉施設の方に車いすを持ってきていただき、車いす体験をする。車いすの操作方法や、車いすを動かすときに注意することなどを教えていただく。</p>    <p>7月12日には、近くにある施設「太陽の家」に勤めておられる、新</p>

	<p>井さんにお越しいただき、車いすでの生活や、車いすでできることについてお話を聞いた。普段使っている車いすや車を見せていただいた。</p>  <p>9月27日パラリンピックの種目である、ゴールボールを体験する。ゴールボールのルールを知ったり、パラリンピック選手の気持ちを考えたりするきっかけにした。</p>  <p>10月10日には、パラリンピック、車いすリレーの銅メダリストである、寒川さんにお越しいただき、車いすマラソンについて教えていただいたり、本物の銅メダルを見せていただいたり、貴重な体験をさせていただきました。</p> 
<p>本事業</p>	<p>6 主な成果</p> <p>事前学習で、車いす体験をすることで、車いすへの興味をもって学習に取り組むことができた。また、パラリンピックのことについて、他にはどのような競技があるのかを調べて、オリンピックとの違いや、ルールの違いなどに関心をもつことができた。ゴールボールを実際に体験したことも、子どもたちには、大きな違いを感じる体験になった。</p> <p>パラリンピックに出場した寒川さんのお話を聞かせていただいたときは、車いすに乗ることになったきっかけや、厳しい練習をしてきたことを知り、車いすで生活することの大変さや、パラリンピックに出場することの難しさを感じていた。そして、パラリンピックに興味をもって、その後の学習に生かすことができた。</p> <p>また、車いすで生活させている方や、目の不自由な方に自分たちができることは何かという視点に立ち、日常生活の様子を振り返ることもできた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>急にパラリンピックの話をして、自分たちの生活とつながりのない、遠いものを感じるので、できる限り身近なものから、興味をもって取り組めるような学習の進め方にした。</p> <p>寒川さんには、実際に競技で使われている車いすを持ってきていただいたり、銅メダルを持ってきていただいたり、実物に「触れる」という体験を通して、子どもたちの思いを膨らませるきっかけを作った。また、その当時の動画なども用意していただき、今後の学習につなげるきっかけにした。</p>

8 主な課題等	本校の場合は偶然にも、近くにパラリンピック選手が勤めておられる施設があったので、どこの学校でも可能というわけにはいかないと考える。
9 来年度以降の実施予定	4年生の総合的な学習の時間で、車いすの体験を含む学習には取り組むが、講師が今回の方（パラリンピアン）になるかどうかは未定である。 大変有意義な学習であるので、引き続き、続けていけることが理想である。しかし、時期を合わせるのが難しかったので、年度初めに、計画を立て、検討していく必要があると感じる。